

平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について

本法人を始めとする各国立大学法人が6月末に提出した「平成27年度及び第2期中期目標期間に係る業務実績報告書」に対し、平成27年度分に係る評価を審議するための国立大学法人評価委員会総会が、11月15日（火）に開催されました。同総会での審議・決定を受けて、同日文部科学省の国立大学法人評価委員会委員長から、本法人の評価結果について、別添資料のとおり通知がありましたのでご報告いたします。

本法人の評価結果については、「4つの項目別評価」（「業務運営の改善及び効率化」、「財務内容の改善」、「自己点検・評価及び情報提供」、「その他業務運営（施設設備の整備・活用、安全管理等）」）のうち、業務運営の改善及び効率化において「中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる」との評価を受け、その他の項目においては、「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」という評価を得ました。

業務運営の改善及び効率化の評価結果について重く受けとめるとともに、当該年度計画に対しては、本学においても「年度計画を十分には実施していない」との自己評価を行っていたことから、今年度当初に既に改善を図っております。

このように、第2期中期目標期間の最終年度である平成27年度実績の評価結果は、本法人にとって、ほぼ満足できる結果となりました。今後、第2期中期目標期間全体の評価結果が示されることとなりますが、本学としましては、今年度から始まった第3期の中期目標・中期計画の達成に向けて、年度計画を着実に実施し、地域の「知の拠点」としての責務を果たせるよう、役員及び職員が一丸となって法人運営に取り組むこととしています。

平成28年11月15日

国立大学法人大分大学長

北野正剛